

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年4月8日

事業所名 サポートセンターわくわく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3			・今後は子どもたちの特性やニーズに合わせ、活動する部屋を分けて対応していく。より子どもたちが、安心して過ごせる空間づくりができるよう工夫していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	3	3			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4		2	絵カードなど使用し、視覚的にもわかりやすいよう工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		1	みんなで過ごせる空間と個室があり、場面に合わせ活用している。	おもちゃや備品などの整理整頓を心がけ、心地よく過ごせる環境に配慮していきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		・毎日、振り返りで職員全員で情報共有している。 ・振り返りを書面化しているの で、休みの職員とも情報を共有出来るようにしている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	1	・保護者の要望を出来るかぎり行えるように努めている。 ・保護者からアンケートを実施して把握しており、業務改善につなげている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	2		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・定期的に法人研修や部署内研修において講師を招いて、勉強会を行っている。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		・保護者から情報をもらいながら、その子のアセスメントをとって、職員全員で情報共有・支援を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3		3		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	3			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		・職員の意見を取り入れながら係が月間の活動予定表を作成している。	・係が中心で活動案を作成しているため、今後は職員会議などで、活動プログラムの振り返りと提案をみんなの意見を取り入れながら活動案を作っていきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		・季節の行事や制作など取り入れ、プログラムも固定化せぬよう職員の意見など取り入れながら、新しい活動にも取り組んでいる。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	2				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・朝のミーティングでリーダーを中心として、今日の支援について・担当・トイレ介助等決めて、子供たちが安心、安全に支援できるようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		・その日、休みの職員がいても振り返りシートに記載する事で前日に何があったのかわかるようにし、情報を共有している。	・勤務時間が変わり、当日で職員間での振り替えする事が難しくなっているので、記録にきちんと残して、情報共有するようにしていきたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		・業務終了後、担当になった職員が記録を取り、支援の検証・改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	2			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			・主に児童発達支援管理責任者が参加。職員と情報共有をしながら会議資料の作成を行っている。 ・定期的に参加して、情報を集め、職員間で情報を共有している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	2	3	モニタリング会議などを通し、関係事業所などと情報交換を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					現時点で医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の利用がない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					現時点で医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の利用がない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3		移行支援として、移行先へ情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6			移行支援として、移行先へ情報共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	3		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3	1	・午前中は児童館や公園で地域の子どもたちと関わる事がある。 ・児童館のイベントに参加する事がある。	普段より地域の公園や児童館のイベントなどに積極的に参加し、地域の子どもたちと交流する場を増やしていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			・活動の様子や体調面などを保護者に申し送りしている。 ・課題や要望等、職員間で情報共有している。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4		・別事業所でペアレント・トレーニングを行っているため、案内できる時には保護者へ文書を渡している。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に紙面で確認しながら行っている。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	3			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		5		これまで保護者会などの開催が出来ていなかった。来年度は保護者の方のニーズも伺いながら、保護者の方向士で、一緒に話や相談ができるような機会を作っていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1		・苦情があった際には、上司にすぐ報告し、どのように対応していくか職員間で話し合い、丁寧に対応行うようにしている。	・対応が遅くなってしまうたり、職員間の認識のいきちがいなどもあり、保護者の方へ不快な気持ちにさせてしまう事があった。普段からしっかりとコミュニケーションを図り、保護者の方の想いに気づけるようにしていきたい。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3			・定期的な発行が出来ていないため、定期的に活動の様子など写真を踏まえ報告できるようにしていきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			利用者の個人情報は、職員間で共有して、外部に漏れることがないように努めている。 ・SNSに活動内容をアップする際には、事前に説明し、同意を得ている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	3		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	3		・年に3回の実施訓練と1回の机上訓練を行っている。近隣住人にも事前に訓練を行う旨、説明している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6			契約時と定期的に健康カード記載して頂き、健康状況確認している。	自宅での服薬については、事業所で把握できていない方もおり、再度情報収集していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1		・保護者からアレルギーに関する指示書もらっている。それをもとに、職員間で情報共有して、おやつ成分表示をチェックして提供している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			・外部研修があれば、できるだけ参加できるようにしている。	・年に1～2回、虐待防止リーフレットの読み合わせを行なっている。また、法人研修で事例検討を取り入れている。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2		・ヒヤリハット、事故があった場合は、すぐに上司へ報告、職員へ口頭で報告。報告書をまとめて提出している。		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。